



## ～ WELCOME TO HARUHIGAOKA ～

南タンゲラン国立第2高校(インドネシア)20名 (11月15日～17日)

米国スタンフォード大学 サプリナイシマツ先生 (11月25日)

## ● 南タンゲラン国立第2高校の生徒16名が2日間にわたり、授業に参加しました。

## (学校紹介)



南タンゲラン国立第2高等学校は、南タンゲラン市(首都ジャカルタから車で1時間半くらい)の国立校で、インドネシアを代表する進学校です。生徒の約7割近くが日本の東京大学にあたるインドネシア大学に進学し、他、ガジヤマダ大学、バンドン工科大学等の有名国立大学に生徒を送り出しています。日本の九州大学や立命館アジア太平洋大学にも進学する生徒もいます。日本語クラブ(約100名)や日本文化祭など、日本文化に関する活動を活発に行い、全インドネシア高校生日本語弁論大会・全国大会で優勝した生徒もおり、日本語教育に非常に熱心であり、生徒数は約900名、教員数は81名の大規模な高等学校です。

この8月にSGH事業の一環で本校の生徒10名と教員3名が学校訪問をしましたが、今度は本校に迎えることになりました。校長先生をはじめ、教員4名、生徒16名が2泊3日のホームステイをしました。

## (授業参加の様子)



11/15 春日丘高校到着 ホームステイの家族と対面



11/16 歓迎セレモニー(東会議室)

8月研修参加生徒との交流

家庭科 ケーキ作りに挑戦



剣道部を見学

ラグビー部を見学

中部大学のネットテレビに出演





11/17 書道、芸術、音楽に挑戦



英語の授業で日本文化の説明



中部大学 洞雲亭（茶室）訪問



(部活動披露) 少林寺拳法部



吹奏楽部



チアリーディング部



SGH 文化交流会（意見交流）



Green 「奇跡」を日本語で熱唱



涙のあと、笑顔でお別れ

## ● 名門、スタンフォード大学のサブリナ先生に講義をしていただきました。

本校のSGH（スーパーグローバルハイスクール）事業の一環として、生徒2名が米国のスタンフォード大学の「異文化理解教育遠隔授業プログラム（SPICE）」に選抜されて参加しており、その縁もあり SPICE のカリキュラム作成、指導者であるサブリナシマツ先生にご来校いただき、1年生啓明コース96名、1年生国際コース47名、啓明コース中学3年生26名が英語の講義を受けました。スタンフォード大学は、常に大学世界ランキング上位の名門大学です。

サブリナ先生は、日系4世として日本とアメリカの両国の文化観を持ち、佐賀県伊万里市、アリゾナ州、LA、サンフランシスコ、ハワイ、San Jose にて暮らした経験をもとに、「日本から見たアメリカ」、「アメリカから見た日本」というテーマで、生徒たちに分かりやすく楽しい講義をしてくださいました。参加した中学3年生も、講義の7割は理解できたと喜んでいました。また、現在 SPICE の e-Japan プログラムに参加している2年啓明コースの若林昴樹君、劉賢姫さんの2人も、サブリナ先生と後輩たちの前で、e-Japan プログラムの印象を英語でスピーチしました。



サブリナ先生の素晴らしいプレゼン



後輩たちに流暢な英語スピーチを披露



1年生国際コース全員で記念撮影

● 事前の準備、当日のおもてなしにご協力いただきました先生、生徒、事務、保護者のみなさま、  
ありがとうございました、Terima kasih : テリマカシ。